

2024年度 第4回研究会(南関東支部開催)プログラム

[テーマ] 持続可能な社会をめざす科学教育

[日時] 2025年3月9日(日) 10:00-18:00

[会場] オンライン開催

[日程] 09:30 受付開始(オンライン入場可)
09:50 開会挨拶/諸連絡
10:00-11:20 研究発表(午前の部①)
11:20-11:30 休憩
11:30-12:50 研究発表(午前の部②)
12:50-13:20 昼食(南関東支部総会)
13:20-14:40 研究発表(午後の部①)
14:40-14:50 休憩
14:50-16:10 研究発表(午後の部②)
16:10-16:20 休憩
16:20-18:00 研究発表(午後の部③)
18:00 閉会

座長 福田博人(岡山理科大学)

- A01 10:00-10:20 小・中学校理科における粒子概念の指導に関する研究—実証的研究の文献調査を中心として—
○ 柘堀 亮(茨城大学教育学部附属小学校)・宮本直樹(茨城大学教育学部)
- A02 10:20-10:40 中学校理科電気単元における興味・関心を高める教材開発 — ブラックボックスを活用した試行錯誤 —
○ 和藤隼生(福井大学連合教職大学院)・平塚淑恵(岐阜聖徳学園大学附属中学校)・寺田光宏(福井大学連合教職大学院)
- A03 10:40-11:00 生徒がモデルを用いて説明・予想を行う能力を育成する理科指導法 — ロールプレイを通じた消化の過程のモデル化 —
○ 小海裕暉(埼玉大学教育学部)・小倉 康(埼玉大学教育学部)
- A04 11:00-11:20 知識構成型ジグソー法を用いた、学びの再構築を促す中学校理科の授業 ~ 微生物による有機物の分解 ~
○ 新井崇仁(旭川市立愛宕中学校)・古屋光一(上越教育大学)
- 11:20-11:30 休憩

座長 寺田光宏(福井大学連合教職大学院)

- A05 11:30-11:50 Real Worldに偏り過ぎる数学教育
○ 渡辺 信(生涯学習数学研究所)・青木孝子(東海大学政治経済学部)
- A06 11:50-12:10 ネガティブ・ケイバビリティを視座とする数学教育の一考察:確率教育に焦点をあてて
○ 福田博人(岡山理科大学)・佐藤海都(岡山理科大学)
- A07 12:10-12:30 算数文章問題における言語表現の違いが解答パフォーマンスに及ぼす影響:学力層別の検証
○ 村松幹太(関東学院大学理工学部)・吉川 厚(関東学院大学理工学部)・折川 司(金沢大学人間社会研究域 学校教育系)
・三浦登志一(山形大学大学院教育実践研究科)
- A08 12:30-12:50 A Progression of High School Students' Mathematical Discourse from the Perspective of De Dicto/De Re Distinction
○ Yusuke UEGATANI (Hiroshima University High School, Fukuyama)・Ryo ITO (Waseda University)・Shintaro SHIRAKAWA (University of Fukui),
Hiroki OTANI (Otsuma Women's University), Hirotsuka SUGITA (Hiroshima University)
- 12:50-13:20 昼食(南関東支部総会)

座長 坪田幸政(桜美林大学リベラルアーツ学群)

- A09 13:20-13:40 令和7年度大学入学共通テスト『情報 I』の出題に関するリサーチの観点による分析
○ 丸山雅貴(日本国際学園大学経営情報学部)
- A10 13:40-14:00 高等学校における文理選択決定条件の検討
○ 上田彩子(日本航空高等学校)・和田重雄(日本薬科大学)・黒尾 信(ドルトン東京学園中等部・高等部)・佐藤久斗(東京都立向丘高等学校)
- A11 14:00-14:20 似非科学の騙されにくさとネットリテラシー向上における学習漫画の有効性:長期学習と短期学習の比較
○ 小日向黎(関東学院大学)・吉川 厚(関東学院大学)
- A12 14:20-14:40 理科教育と社会的合意形成に用いられる科学的知識の関連性に関する一考察
○ 野村祐子((元)災害教育研究所)
- 14:40-14:50 休憩

座長 丸山雅貴(日本国際学園大学経営情報学部)

- A13 14:50-15:10 TPACKの枠組みから捉えた生成AIを活用した保健体育における教師の教授知識の特徴と認識に関する事例研究
○ 豊田大登(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所)・益川弘弘(青山学院大学教育人間科学部)・北澤 武(東京学芸大学大学院)
- A14 15:10-15:30 小型人型ロボットキットに対するプログラミング学習教材としての検討・評価
○ 高藤清美(日本国際学園大学)
- A15 15:30-15:50 生物分野のプログラミング教材の実践研究
○ 坪田幸政(桜美林大学リベラルアーツ学群)・鈴木莉歩(桜美林大学リベラルアーツ学群)
- A16 15:50-16:10 生物学を主軸とした学融合授業の実践とその効果
○ 長山定正(東京大学大学院)
- 16:10-16:20 休憩

座長 福井智紀(麻布大生命・環境科学部)

- A17 16:20-16:40 細孔性錯体結晶によるシクロヘキサンの分子構造教材の開発と実践
○ 笠井香代子(宮城教育大学教育学部)・西村優希(宮城教育大学教育学部)
- A18 16:40-17:00 ウミホタルルシフェラーゼ遺伝子の第6エキソンのPCR産物の次世代シーケンス解析
○ 兼平聖也(岩手大学教育学部)・安川洋生(岩手大学教育学部)
- A19 17:00-17:20 乾燥ワカメの核・ミトコンドリア・葉緑体の遺伝子のマルチプレックスPCR
○ 吉田琴美(岩手大学教育学部)・安川洋生(岩手大学教授)
- A20 17:20-17:40 緑藻を用いた化学物質の環境影響と水質浄化を検討する教材開発と教育実践 — 大学との連携により深化する環境教育を目指して —
○ 岡浜菜衣莉(日本薬科大学)・名取 慶(千代田国際中学校)・和田重雄(日本薬科大学)
- A21 17:40-18:00 ユネスコスクールの中学校・高等学校における生物多様性に関する教育活動の分析・考察
○ 浅岡永理(麻布大学大学院環境保健学研究科)